

令和7年度 さいたま市フリースクール等連絡協議会 協議概要

令和7年10月17日（金） 15:00～16:15

Zoom ミーティング

協議内容 「学校との連携における具体的な取組について」

1 学校との連携における現状と課題

（1）現状について

- ・入会の際、保護者と子どもの意思確認を行い、学校との連絡や連携、挨拶等を行っている。
- ・毎月、出席状況や予定表、子ども達の活動（作品や成果等）をメールや郵送で報告している。
- ・学校復帰や学習支援、自立の支援を進めたい子どもに対しては、担任の先生や専門職と連絡を取り、学校復帰のための計画を立て、徐々に復帰できるよう本人を促したり励ましたりしている。
- ・学校自体が関係として合わない子には、支援級やフリースクール等、それぞれに合った環境を保護者と相談し、橋渡しをしている。
- ・さいたま市の SC（スクールカウンセラー）や SSW（スクールソーシャルワーカー）と連携し、個別のケース会議を実施したり、スタッフの研修を行ったりしている。

（2）課題について

- ・居場所としての利用が主になるため、学習面を補うことが難しい。
- ・新たな取組として、スクーリングだけでなく ICT 教材を活用したオンラインでの学習サポートを始めた。
- ・進路指導についてはフリースクール等だけで対応すると選択肢が狭まってしまうので、学校とうまく連携がとれるとよいと感じる。
- ・学習の成果が学校の成績に反映しない。
- ・職員の異動や途中で担任が休みになった場合、後任への引継ぎがなされていないところもある。
- ・家庭から学校の間に入ってほしいという要望や、学校から繋がりを増やしたいとの要望があり、どの立場で支援を行ったらよいか悩むときがある。
- ・フリースクールとして、補助金等の財政支援がないことに困っている。

2 今後に向けて

- ・学校連携において、各団体が書面や対面等様々な方法で何に困っているか、興味を持っているか等、その子どものことを考え、一人ひとりに寄り添いながら対応してくれていることが分かった。
- ・連携の仕方が更に進むと良いという意見があったため、学校側にも伝えていきたい。
- ・補助金や助成金について、必要という声が挙がっていることは理解している。市議会において「現時点では、フリースクール等の利用者に対して補助金等を交付する考えはございません。」とのことだが、今回挙げた内容のご意見として担当課に伝えていきたい。